

大館市教育委員会会議録

日 時 令和7年2月21日（金）

午後3時30分

場 所 大館市立中央公民館

多目的室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和7年2月21日（金） 大館市立中央公民館	午後3時30分 多目的室
2	出席委員の氏名			
	教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子
	委 員	小笠原 正 卓	委 員	真 田 かずみ
3	欠席委員の氏名			
4	委員以外の 出席者職氏名	(なし)		
5	出席した職員の職氏名			
教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	宮 崎 史 人	
教 育 次 長	成 田 浩 司	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤	
教 育 監	長 岐 公 二	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則	
教 育 総 務 課 長	北 林 香 子	中 央 公 民 館 長	外 館 志	
学 校 教 育 課 長	鈴 木 明	歴史文化課長補佐	篠 村 朋 子	
教 育 研 究 所 長	米 澤 貴 子	教育総務課総務係長	柳 谷 真 希	
生 涯 学 習 課 長	畠 山 慶 子			
歴 史 文 化 課 長	関 智 仁			
6	会議録署名委員 教育長・工藤委員			
7	会 議 書 記 教育総務課 総務係長 柳谷 真希			
8	教育長報告			
(1)	常陸大宮市からの卒業証書用紙寄贈及び返礼品の贈呈について			
(2)	子どもサミット釜石交流事業について			
(3)	大館市教育委員会の表彰について			
(4)	大館学び大学「これから始める農業講座」の開催について			
(5)	大館城跡陶磁器の鑑定について			
(6)	「田代岳の岳参り作占い行事」の県無形民俗文化財としての指定について			
9	議 事			
協議第3号	大館市教育施設整備基金に関する条例の一部を改正する条例案			
協議第4号	令和6年度大館市一般会計補正予算（第11号）案			
協議第5号	令和6年度大館市奨学資金特別会計予算（第1号）案			
協議第6号	令和7年度大館市一般会計予算案			
協議第7号	令和7年度大館市奨学資金特別会計予算案			
10	その他			
次回 3月18日（金）本庁舎5階 第4委員会室 15：30				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年2月21日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容														
常陸大宮市からの卒業証書用紙寄贈及び返礼品の贈呈について	今年度も、常陸大宮市から市内 4 校に伝統和紙で作った卒業証書用紙を寄贈していただきました。 大館市からは、返礼品として大宮小学校の卒業生には秋田杉で製作したペンケースを、大宮中学校の卒業生には同じく秋田杉で製作したペン立てを贈呈しました。 ○常陸大宮市から（西之内和紙卒業証書） <table><tr><td>桂城小学校へ</td><td>5 7 枚</td></tr><tr><td>城南小学校へ</td><td>8 1 枚</td></tr><tr><td>第一中学校へ</td><td>1 8 2 枚</td></tr><tr><td>比内中学校へ</td><td>7 0 枚</td></tr></table> ○大館市から（秋田杉伝統工芸品） <table><tr><td>大宮小学校へ</td><td>ペンケース</td><td>4 8 個</td></tr><tr><td>大宮中学校へ</td><td>ペン立て</td><td>1 1 5 個</td></tr></table>	桂城小学校へ	5 7 枚	城南小学校へ	8 1 枚	第一中学校へ	1 8 2 枚	比内中学校へ	7 0 枚	大宮小学校へ	ペンケース	4 8 個	大宮中学校へ	ペン立て	1 1 5 個
桂城小学校へ	5 7 枚														
城南小学校へ	8 1 枚														
第一中学校へ	1 8 2 枚														
比内中学校へ	7 0 枚														
大宮小学校へ	ペンケース	4 8 個													
大宮中学校へ	ペン立て	1 1 5 個													



教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年2月21日

担当課（教育研究所）

報 告 事 項	報 告 内 容
子どもサミット釜石交流事業について	2月14日と15日の2日間、本市子どもサミットを代表する小中学生12人が岩手県釜石市を訪問し、釜石市の小中学生で組織する「かまいし絆会議」の代表28人と交流しました。 1 交流会 『地域をよりよくするために何ができるか』をテーマに、互いに各校が取り組んでいる活動の紹介や意見交換をしたほか、防災活動についても話し合いました。 2 『いのちをつなぐ未来館』の訪問 震災の伝承と防災学習を推進する施設を訪問し、震災を体験した語り部の方の講話を聞きました。そして東日本大震災が起こった時に、当時の小中学生が津波から逃れた避難路約1.6キロメートルを歩く追体験も実施しました。 本事業を通じて、改めて命の大切さや防災に対する意識が高まり、将来の大館のために「今から、自分たちができること、やらなければならないこと」を学ぶ貴重な機会となりました。 3 参加者 小学5年生4人、中学2年生8人、引率教諭3人、事務局1人 計16人



交流会での発表



津波避難路の追体験

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年2月21日

担当課（教育研究所）

報 告 事 項	報 告 内 容
大館市教育委員会の表彰について	大館市教育委員会表彰規則に基づき、教育の振興発展等に貢献し、その功績が顕著である者に対して次のように表彰することになりました。 【授業マイスター】 5名 ・貝森 彩由子（有浦小） ・谷川原 真由美（有浦小） ・飯坂 貴子（南 小） ・岩谷 真奈美（東中 英語）・畠山 将之（東中 英語） 【チャレンジ授業賞】 3校 4名 ・森川 夏子（長木小）6年国語 「ひだまり学年が考える宮沢賢治の生き方」 ～やまなし他 作品群の並行読書を通して～ ・山田 諭（成章小）6年社会 「私たちの生活と政治～市民の願いを実現する政治～」 ・藤原 一輝 他（北陽中） 3年 総合的な学習の時間 齋藤 悠介 他（北陽中）1～3年 総合的な学習の時間 「歌声で思いを伝える」 【ふるさと授業賞】 3校7名 ・近藤 恵子・小畑 大樹（桂城小）6年・総合的な学習の時間 「広がれ 桂城・大館の素晴らしさ～桂城鶏めし大作戦～」 ・代表 本間 和規・伊藤 久美子 他全職員（西館小） 全学年・総合的な学習の時間 及び 学活 「150年のありがとうを丁寧な言葉と心を込めた振る舞いで伝えよう」 ・伴野 拓海・駒木 聖子・藤田 進也（東中） 全校 保健体育・総合的な学習の時間 「鳳凰ダンスパフォーマンス『天晴れ！』」 【未来大館市民賞】 3校 ・有浦小6年 根本 夏帆・安井 陽菜・今野 叶望（かなみ） 「県主催 第1回子ども健康会議」 生活習慣病による死亡率の高い本県の現状を知り、 自主的に応募。運動するとキャラクターが変化する 育成ゲーム型アプリを提案。 ・東中 2年 生徒会長 三浦 璃音（りお） 2年 生徒会副会長 川田 晴路（はろ） 2年 生徒会副会長 日景 美結（みゆ） 1～3年有志 220人 「学校脇のイチヨウ並木の落ち葉を清掃して地域美化に努めた」 ・比内中 環境委員会委員長 安藤 蛍美（ほたるび） 1～2年有志 33人 「冬休み中、学校近くの特別養護老人ホームで除雪ボランティア」 【子どもハローワーク奨励賞】 3名 ・桂城小5年 安達 司 24回（体験場所24カ所） ・桂城小4年 櫻田 葵 22回（体験場所18カ所） ・桂城小4年 安富 夏妃 15回（体験場所10カ所） 表彰式は、2月28日（金）16時30分から中央公民館で行います。

教育長が教育委員会会議に報告する事項

令和7年2月21日

担当課（中央公民館）

報 告 事 項	報 告 内 容
大館学び大学「これから始める農業講座」の開催について	2月1日、中央公民館において大館学び大学「これから始める農業講座」を開催し、新規就農を考えている方や「就農の予定はないが農業にとっても興味がある」という方など7名が、農業への理解を深めました。 初めに、農政課の職員が農業の現状について講話し、新規就農者への支援制度など具体的に説明しました。 次に、就農5年目の花き（ダリア）農家 富樫^{おさむ}収さんが、どのような視点で農業経営を構築していったかについて詳しく話をしてくれました。 前職がデータベース系エンジニアだったこともあり、富樫さんからは、情報の分析や農作物のネット販売にとっても積極的で、随所に新しい視点での挑戦があったことや、ブランド化を計画しているサツマイモへの熱い思いを聞かされ、受講者は農業の大変さと同時に、楽しさも感じ取ることができました。 また、参加者からトンブリが大好きで生産過程を体験できないかとの質問があったため、講座終了後トンブリ生産者に確認したところ、快く受け入れたいとの返事をいただきました。 親が高齢になったため、そろそろ畑を継ごうかと考えている参加者もいて、学びを通じて自分のこれからの生き方を考える良い機会になったようでした。



富樫さんの取り組みを紹介



農政課職員による講話

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年2月21日

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
大館城跡陶磁器の鑑定について	令和7年1月、佐賀県立九州陶磁文化館名誉顧問の大橋康二先生を当館に迎え、大館城跡発掘調査において旧庁舎敷地から出土した陶磁器約800点の鑑定を行いました。 鑑定品は、17世紀前半～18世紀後半（近世・江戸時代）の碗と皿が多く、産地は肥前産陶磁器が8～9割程度で、有田、波佐見、内野山窯、志田窯と特定されたものがあったほか、関西系（瀬戸、美濃、丹波、信楽など）や中国産（景德鎮、漳州窯）も少ないながらもありました。 本市の歴史を後世に引き継ぐため、この鑑定結果を現在作成中の調査報告書に活用するとともに、今後も市民の貴重な文化遺産である埋蔵文化財の保存に努めてまいります。 1．期 間 1月14日（火）～1月17日（金） 2．対象遺物 陶磁器約800点 ・第5次調査 令和3年10月 1日～12月 8日 ・第6次 令和4年 5月10日～12月24日 ・第7次 令和5年 4月 4日～ 7月28日 3．その他 秋田県埋蔵文化財センター中央調査チーム（2名）が鑑定作業を見学のため来館しました。
 鑑定の様子	 鑑定された遺物

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年2月21日

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
「田代岳の岳参り作占 うらな い行事」の県無形民俗文化財としての指定について	2月4日、県の文化財保護審議会が、市指定無形民俗文化財である「田代岳の岳参り作占い行事」を、県の無形民俗文化財として指定するよう県教育委員会に答申しました。 作占い行事は、大館市北西部に位置する田代岳九合目に点在する池塘ちとうの一部を「神の田」と定め、そこに自生するミツガシワを稲に見立て、その生育具合等を見て稲作の豊凶を占う行事で、半夏生の前日（7月1日頃）に行われています。 作占いの起源は定かではありませんが、明治5年に書かれた『伊頭園茶話』いずえんさわ（石井忠行著）いしいただつら三の巻に占いの記載があることから、150年以上も前から続く伝統行事と考えられています。 田代岳は白神山地の最東端に位置する標高1,178mの山で、山頂には田や水の神でもある白鬚大直日大神しらひげおおなおひのおおかみを祀る田代山神社たしろやまがあり、社伝によると天正年間（1573～1592）の創建とされています。 古来より山そのものが信仰の対象とされ、豊作や安寧を祈る近傍の人々がその加護を得るべく登拝する習わしがあります。 本行事は、地域の山岳信仰と稲作儀礼が習合した行事であり、県内に類例が見られないことから貴重であると評価されたもので、今後、県教育委員会での承認を経て、正式登録となる予定です。
 田代岳九合目に広がる地塘群	 ミツガシワが自生する三五さんご（散供）の池

議 事 の 経 過	
	開会 午後３時３０分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と工藤委員にお願いします。 会議録についていかがだったでしょうか。 （「異議なし」の声あり） それでは、承認とさせていただきます。 では、「４．教育長の報告」をお願いします。
各課長	（「（１）常陸大宮市からの卒業証書用紙寄贈及び返礼品の贈呈について」 「（２）子どもサミット釜石交流事業について」 「（３）大館市教育委員会の表彰について」 「（４）大館学び大学「これから始める農業講座」の開催について」 「（５）大館城跡陶磁器の鑑定について」 「（６）「田代岳の岳参り作占い行事」の県無形民俗文化財としての指定について」を、資料により報告）
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。
委員	質問ではないのですが、実は子どもサミットの釜石交流事業についてお願いですが、子どもたち、なかなかできない体験をされてきたのではないかなと毎年感心して思っております。 この記憶の継承が一番肝心なのかなというような気がしてまして、子どもが身近でこのような震災の体験を聞く機会がないということからすると、この子どもたちが聞いてきたことをどこかで聞く機会をいただけないものかなと常々考えておりました。 広く市民にとはいかないかもしれませんが、教育委員、教育委員会の中だけででもいいので、子どもたちがこのように体験してきたことを披露する機会があってもいいのかなという気がしますので、ぜひ善処いただけるといいと思います。
学校教育課長	２日目、帰ってきてから中央公民館で簡単な報告会を開き、子どもたちが一緒に学んで感じたこと、これから自分はどうしたいというのを発表する場がありました。保護者の方もいらっしゃって、改めてそれを映像などに記録ができないかどうか、あるいは子どもサミットを毎年２月と１２月に開いていますが、そのときに発表できないかこれから検討してまいりたいと考えております。

委員	ぜひよろしくお願いします。
教育長	今回、中学2年生が行ったのですが、ちょうどその震災が起きた年に生まれた子どもたちです。だから、彼らは1歳になっていない、生後数か月という頃の子どもたちで、ちょうど震災の前日に生まれたという生徒もおりまして、そういう意味でも、ずっと続けてきたことがこういう形で継承されていくのだなということを思いましたし、今回の訪問に引率した先生が2人いるのですが、1人が中学校のときに子どもサミットで釜石に行っておりまして、10年前の姿と比べて見てきたいということを話してまして、この釜石市交流につきましては、そろそろいいのではないかとというふうな部外者の声もあるのですが、やはりこれは続けていくべき行事だと思いました。そして、山田委員がおっしゃるように、もっともっとそういうことを市民の方々に広げる機会が設定できればさらにいいというふうに私も思っております。 他にございませんか。
委員	大館学び大学についてです。この学び大学については4、5年になりますよね。 最初のお話で、単なる趣味だとか実用的な講座ではなく、学び直しを通してスキルアップや新たな就労につなげていくというコンセプトだったと思うので、そういった意味では今回の内容はとても有意義だったのではないかなと思っています。 地域の課題でもある農業従事者が少ない、そういったことの課題解決にもつながったというのはとてもいいと思っています。ターゲットにしている層があると思うので、ぜひニーズに沿いながらいろいろ展開していただければと思います。
中央公民館長	どうもありがとうございます。今年度から中央公民館で学び大学をやることになりまして、その前はNPO法人でやっておりまして、少し講座数は減ったのですが「喜びの入り口」ということで、就農に向けての入口だったり、もう1度学び直すために自分が何をしたらいいのか、自分はこれにも興味あったのかというのを起こしていただくためにもいい機会になるとと思っています。 来年度も同じくらいの講座数をやっていきたいと思っていますので、できればご参加いただければありがたいですし、講師になっていただいている方もいらっしゃいますので、よろしくお願いします。
教育長	これは、生涯学習として大切な制度だと思います。大館としてこれを行っていることは非常に大事で、いろいろ試行錯誤しながらやっておりますが、大館最適の形の学び大学に徐々に仕上げていただければなというふうに思いますので、よろしくお願いします。 講師の方、何か一言ありませんか。

委員	そうですね。今日の資料の中に私の講座が1つ入っているのですが、比較的新しい概念というところで「フレイル」という言葉は、よくいろいろな広報に載ってはいるのですが、「口の衰え」というところは概念が発表されてからもう14年ぐらいなのですが、なかなか認知が広がらないという部分もあります。 この件については、正直興味を持って講座を受けてくださる方をこれから集めなければいけないと、関心を持ってくださる方を増やさなければいけないというところなのですが、非常にどの講座も学びの機会、また実生活に生きるものも多いですので、ぜひたくさんの方に知っていただくということで、広報の面はこれから工夫できるところのかなと個人的には思います。
教育長	ありがとうございます。他にございませんでしょうか。
委員	歴史文化課の「田代岳の岳参り作占い行事」についてですが、私は大館市に住んで今5年目に入りますが、実は田代岳には登ったことがなくて、今月のアメッコ市とつながる話で、150年も続いているのだということを見ると、非常に神秘的だなという気持ちになりました。 そして、私は「ミツガシワ」という植物も知らなくて、恥ずかしながらこの資料をいただいて調べたところでした。調べたところ、その田代岳の保護団体の方々を中心にこの例祭に参加されているということだったのですが、一般の方というのはどれくらいの方が集まられて、そもそも参加できるのかなとか、そういったところを伺ってみたいです。
歴史文化課課長	かなり登るのが大変な山でございまして、田代中学校生は必ず3年生のときに一度7月に登りますが、これが大変苦しい登山です。 ご質問の参加できるかどうかですが、参加はできると思います。ただ、今現在、道路の整備がうまくいっていませんし、草がいっぱい生えている「藪」なのです。道をつけるのも少し苦しい感じで、宮司の方、それから氏子の方たちが苦勞されている感じです。去年は、数名で登ったとのこと。県の文化財保護室の担当者も、去年は同行したようです。ですので、行きたければ保存会の方にお話したり、時間を合わせて自分で登っていただければいいだけの話で、そこで神事を行うということです。ただ、相当険しいです。
委員	そうすると、一般的に募集をしたり参加できますよというように募集しているわけではないのですね。
歴史文化課課長	募集はしていないですが、同じ時期に登ることは可能だと思います。その神事を見る、見学することは可能だと思います。クローズしているわけではないです。

委員	わかりました。 あと、私のチェック不足でしたら申し訳ありませんが、数年前に、田代山神社が少し修復が必要な状況になっていたという記事をちょっと見かけまして、これに関しては指定の正式な登録の前にもうすでに修復できている状況なのではないでしょうか。
歴史文化課課長	そうですね。台風で飛ばされて、それを修復しました。 今は、登山のための避難小屋の役割も果たしております。 ただ、何度も申しますようにそこまで行くのが大変でございます。社殿の方は修復しております。
委員	ありがとうございます。
教育長	元田代中学校校長先生もおりますので、補足お願いします。
委員	とてもいい山です。20数年前に、当時の校長先生が田代岳で終業式をやろうということで、全校生徒で行ったのが始まりで、感動的な終業式でした。それから校長にならせていただいたとき、10年近く前にそれこそ市のふるさとキャリアのお金を使わせていただいて、要はあそこまでのバス代がすごくかかるので、そのお金にこの事業のお金を使わせていただいて全校登山をさせていただきましたが、今回本当に評価されたということで、もし行く方が増えれば、本当に道が大変ですよ。本当に何とかならないのかなとこの記事を読んで思ったところです。 前回の話とも重なるかもしれませんが、これは指定になってもお金とか何もないのですよね。だとすれば、道路の整備を何とかしてもらえないかなと思ったところです。 登山自体はいつでも誰でも登れますので、あと清掃登山ということで募集もあります。
教育長	ロケット試験場の燃焼試験場近くの駐車場から登っていくのですか。
委員	ルートが3か所くらいあるみたいで、大変なコースと簡単なコースがあって、男の子たちは大変な方に挑戦していました。
教育長	大変なコースを挑戦してみてください。
委員	ぜひちょっとチャレンジしたいと思います。
教育長	私から、この田代岳の質問なのですが、「田代岳信仰」とありますが、実は田代地区から田代岳の山頂は見えないですよ。田代岳信仰というのは、どこのエリアの人たちの信仰だったのだろうかということとをずっと疑

	問を持っていたのですが、何かわかりますか。
歴史文化課課長	私も今回いろいろ読んだのですが、北鹿地域だけではなくて青森の方からも信仰があったようで、作占いに合わせて昔は登ってきてあったようですので、かなり広範囲な信仰の対象だったような記述がありました。
委員	先日の大館市教育委員会表彰についての選考に今年度初めて参加をさせていただきます。本当にありがとうございます。 今年度ここに挙がった先生方もそうですが、選考の過程で他にもここには挙がらなかったけどすごく優秀な先生がいっぱいいるということを伺うこともできましたし、われわれが先生方の授業に接するのは、私は保護者なのでその授業参観に行っているいろいろな話を聞けますし、それから教育委員学校訪問の機会を作ってくださいたいと思っていますが、それも限られた機会ですので、そういうところからもこういう選考に参加させていただいたことで、大館市にはすごく優れた先生がたくさんいらっしゃるのだなということを改めて認識させていただきました。
教育長	先ほど県の学習状況調査の結果なども出て、単に数字的な学力だけではなくて、やはりふるさとキャリア教育の一環としての授業という、いろいろな教科はあるのですが、そういうところまで考えてやってくれている、本当に大館の先生達のクオリティは高いなとは思っております。どんどんそういう先生方が育ってほしいなと思います。 他にはございませんか。なければ、報告はこれにて終わらせていただきまして、議事に入ります。説明をお願いします。
各課長	(「協議第3号 大館市教育施設整備基金に関する条例の一部を改正する条例案」、「協議第4号 令和6年度大館市一般会計補正予算(第11号)案」、「協議第5号 令和6年度大館市奨学資金特別会計予算(第1号)案」、「協議第6号 令和7年度大館市一般会計予算案」、「協議第7号 令和7年度大館市奨学資金特別会計予算案」を、資料により説明)
教育長	ご意見、ご質問等はございませんか。
委員	教育総務課にお伺いします。例年、PTAから学校施設の改良のお願いということで、全25校から上がって要望が毎年あると思うのですが、毎年伺っていたと思うのですが、その要望のうちどれくらいクリアしたのが気になるところです。ただ、工事請負を見ていると今年はほとんど厳しいのかなとみているのですが、来月でも結構です。昨年もいただきましたので、それが解決していますというのをいただければありがたいです。 あと、学校教育課にお伺いします。先ほど次長からもお話がありました英語支援員の削減について、現場の先生からも非常に心配の声が上がっているのは私も耳にしました。難しいと思いますが、その影響と今後の見通

	しについて、もう少し言うと、私がいろいろ関わる学校の中でも英語の学力テストの成績が徐々に上がってきていると見えているのです。それで、彼らの力は非常に大きいものかなと感じていました。 ただ、聞くところによるとその会計年度任用職員のバランスとして、教育委員会所管が多いのでということで、それでバランスを取るためにというのが聞こえてくるのですが、それは少し話が違うと思うのです。その英語の支援員の今後の見通しについてちょっとお伺いできればと思います。
学校教育課長	人数の方は、令和6年度は10名おりました。新年度につきましては、半分の5名分の予算しか確保できておりません。申し訳ありません。
教育研究所長	今後の見通しとその調整につきましては、英語教育アドバイザーを中心にしながら、今までは1人で2校をかけもちしていたものの減った分を1人で3校かけもちしながら、全校に全授業まではいかないかもしれませんが、回っていきいたいなと思っております。 令和2年度から小学5・6年生の教科が外国語になって、最初はどういうふうに教えたらいいかなという教員も不安があったのですが、そこから4年5年と経つにつれて、自分たちで自信を持って授業できる先生も増えてきていますし、教科の成績も中学の方も英語が当初苦手だった大館の子どもたちがだいたい盛り返してきています。そしてまた、先ほどから言っている県の学習状況調査の結果からいっても、外国語の勉強が好きだという子どもも増えてきているので、今までは支援員にだいたい頼りながらきていた部分が少しずつ学級担任の先生方が教えるというふうにシフトしてきている状態が見られるので、発展的に少しずつ人数が減っていつてしまうかもしれませんが、まず半分残った人数で頑張って補助していきいたいと考えています。
委員	私が申し上げるまでもないと思いますが、その現場の先生方の不安感の解消に何とかお力をいただければと思います。 あと、海外研修の補助が減額となったということで、具体的に何人から何人に減らされたかを伺いたいののですが。
学校教育課長	予算の方はまずこの通りなのですが、人数でいきますと、今まで16名だったものが、旅費とかが上がってきまして、当初予算では12人分の確保となっております。
委員	ありがとうございます。あと、GIGAスクールのタブレットについてですが、この1億1,000万円ちょっとというのは、新年度に全員が一気に更新されると考えてよろしいのでしょうか。
学校教育課長	現在の令和2年度に導入した1人1台端末の使用期限が11月までとなっております。その前に9月以降から新しいタブレットが順次学校に

	納入される予定となっておりますので、当然切れた端末は使えませんし、OSも10月中に切れますので、その前に新しいタブレット端末やネットワークの改修をやっていく計画で進んでおります。もちろん先生方の部分も含めてです。 児童生徒分もちろん全部と、加えて予備機といたしまして、13パーセント程度です。
委員	全部入れ替わるのではないのですか。
教育次長	全ての児童生徒の分を一括して、令和7年度に入れ替えます。 そのほかにどうしても故障があるという話で、その故障率がおよそ13パーセント前後ということであったので、それに基づいたパーセンテージで予備機を用意するという話です。
委員	ありがとうございます。子どもたちや周りの友達、先生方に伺って、やはり使用状況としては大人が使うパソコンよりも過酷で、壊れているものが結構あるようです。大きなトラブルから「ここのボタンだけいけない」、「画面が」といったいろいろなトラブルが出始めている声が目立っているので、その環境をなるべく早く改善してあげたいなという気持ちがあります。 あとは、給食のことについてもご配慮いただいてありがとうございます。半分補助で半分は保護者負担ということになるかと思うのですが、何とか学校事務作業に滞りのないような手続きをお願いできればと思います。 あと、ふるさとキャリア夢教育事業についてですが、もう1つ、『ふるさとキャリアステップアップ事業』というのがあったと思うのですが、これ当初予算に載るものではなかったのでしょうか。
学校教育課長	こちらは概要ということで載っておりませんが、1校30万円で90万円、これも当初予算に載っております。
委員	この中に入っているということですね。
学校教育課長	そうです。別事業になります。
委員	それであれば結構です。なくなってしまったのかと心配していました。
委員	教育総務課にお伺いします。有浦小学校と東中学校の特別支援学級のルームエアコンですが、全小中学校の普通教室には完備でしたよね。それについては、今までついていなかったのか、それともこの特別支援学級が増えたのでつけるのかを教えてください。

教育総務課長	来年度増えるという情報を得まして、特別支援学級も普通教室と同じ扱いですので、そこに関しては対応するという事で計上しました。
委員	ほかの学校の特別支援学級の部屋には、全部ついているということですよ。
教育次長	全部ついています。
教育監	補足してよろしいですか。 有浦小学校の特別支援学級ですけど、増える理由が8人を超えたからです。同一種別が8人を超えたので、2学級になったという事情です。
委員	先ほど、これ概要なのでとお話があったので、従来と変わったところをおそらく出してくださったということでの認識でいいかなと思うのですが、今まで確か50人ほど支援員さんをずっと継続的に毎年置いてくださっていると思いますが、それは引き続きあるという認識でよろしいでしょうか。
学校教育課長	はい。小学校・中学校とも教育支援員につきましては、削減はありません。
委員	よかったです。どうもありがとうございます。
教育長	全会計合計、次長から説明あったように、3.0パーセントの増で一般会計が2.9パーセントの減、教育予算が3.7パーセントの減というのは、どこからきているのかなと。どこからというか、一般会計予算よりも減の割合が大きいわけでしょう。その要因になっているものは何なのかと。
教育次長	私の説明の中で触れました維持修繕費、投資的経費の減が大きいかと思います。ただこれに関しては、前に説明している学校照明のLED化を現在実施設計中であります。次年度の6月補正で、金額はまだこれからですが、約6億円から7億円ぐらいの予算を追加補正する予定ですので、これを見越したという形も含まれて、投資的経費は今回だいぶ抑えられたというのが大きな要因かと思われま。 細かい話をしますと、小・中、社会教育費、給食管理費全ての工事予算要求額が実は今回全体で1億7,000万円要求しましたが、ついた予算は3,400万円ということで、率にしまして20.1パーセントと2割しかつかなかったという実情でございます。
教育長	他にございませんか。よろしいですか。それでは、承認という形で、進ませていただきます。

教育総務課長 教育長	その他になりますが、委員の皆さまから何かございませんか。 (「来月の開催日程」について) それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後5時00分